

インスタクリア レンズ洗浄シース

(チューブセット、洗浄シース)

再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

構造・構成ユニット

1. 構成

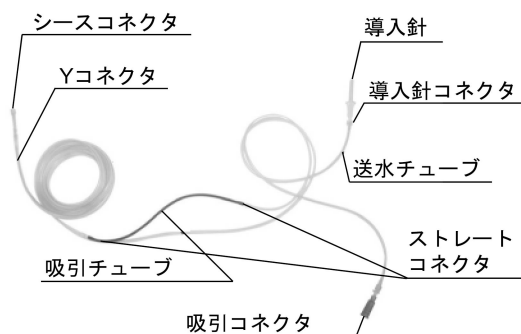
本添付文書は、インスタクリア レンズ洗浄シースの構成品の中で、チューブセットと洗浄シースについて記載する。

- ・チューブセット
インスタクリア チューブセット LCTS100S
- ・洗浄シース
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 0°
Φ4mm × 150mm OLYMPUS LCS1500UNOL
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 30°
Φ4mm × 150mm OLYMPUS LCS1530BTOL
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 45°
Φ4mm × 150mm OLYMPUS LCS1545BTOL
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 70°
Φ4mm × 150mm OLYMPUS LCS1570BTOL
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 0°
Φ4mm × 180mm STORZ LCS1800UNST
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 30°
Φ4mm × 180mm STORZ LCS1830BTST
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 45°
Φ4mm × 180mm STORZ LCS1845BTST
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 70°
Φ4mm × 180mm STORZ LCS1870BTST
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 0°
Φ4mm × 176mm OLYMPUS4K LCS4K00UNOL
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 30°
Φ4mm × 176mm OLYMPUS4K LCS4K30BTOL
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 45°
Φ4mm × 176mm OLYMPUS4K LCS4K45BTOL
 - インスタクリア レンズ洗浄シース 70°
Φ4mm × 176mm OLYMPUS4K LCS4K70BTOL

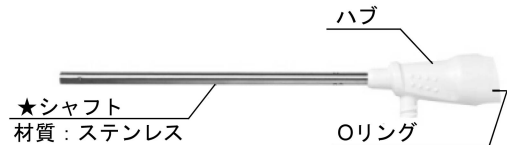
2. 各部の名称

★は、使用中生体粘液などに触れる部分である。

*・チューブセット



*・洗浄シース



3.仕様

・洗浄シース

製品番号	有効長
LCS1500UNOL	115mm
LCS1530BTOL	114mm
LCS1545BTOL	114mm
LCS1570BTOL	115mm
LCS1800UNST	142mm
LCS1830BTST	143mm
LCS1845BTST	141mm
LCS1870BTST	141mm
LCS4K00UNOL	138mm
LCS4K30BTOL	137mm
LCS4K45BTOL	137mm
LCS4K70BTOL	138mm

作動・動作原理

構造

コンソールは、電源スイッチ、フットスイッチを接続するフットスイッチコネクタ、送水ポンプ、ピンチバルブ、流量調節つまみを備えている。

原理

フットスイッチのペダルを踏むと送水ポンプが駆動し、送水ポンプが発生する陰圧により生理食塩水がチューブセットを介して洗浄シースへと誘導され、洗浄シース内の硬性鏡のレンズ面を洗浄する。フットスイッチを離すと送水ポンプは停止する。一方ピンチバルブが一定時間開放され、オプション品である DIEGO ELITE 吸引器または吸引装置が発生する陰圧により洗浄シース内の硬性鏡のレンズ面に付着した水滴が吸引される。

【使用目的又は効果】

使用目的

本品は、硬性鏡のレンズ面に付着した血液や組織を、生理食塩水の誘導により、除去することを目的とする。

【使用方法等】

1.設置

- (1)コンソールを輸液用 IV ポールの支柱に取り付け、生食バッグを輸液用 IV ポールに取り付ける。
- (2)電源コードをインレットに接続し、医用コンセントに電源コードのプラグを接続する。

コンソールの取扱説明書を必ず参照してください。

2.準備・点検

- (1)コンソールの電源スイッチをONにし、電源スイッチが点灯することを確認する。
- (2)フットスイッチをコンソールのフットスイッチコネクタに接続する。
- (3)洗浄シースを、組み合わせ可能な硬性鏡に接続する。
- (4)洗浄シースに、チューブセットを接続する。
- (5)チューブセットの送水チューブをコンソールの送水ポンプにセットし、導入針を生食バッグに穿刺する。
- (6)チューブセットの吸引チューブをコンソールのピンチバルブにセットし、吸引コネクタを吸引容器に接続する。
- (7)吸引容器を DIEGO ELITE 吸引器（オプション品）または施設の吸引装置に接続する。
- (8)生理食塩水が洗浄シースの先端から漏れ出るまで、フットスイッチのペダルを踏み続ける。
- (9)必要に応じ、流量調節つまみを回して流量を調節する。

3.洗浄、吸引

フットスイッチのペダルを踏むことで送水が行われ、硬性鏡のレンズ面を洗浄する。フットスイッチのペダルを離すと吸引が行われ、レンズ面に付着した水滴を除去する。

4.手入れ

- (1)使用後、硬性鏡を洗浄シースから取りはずす。
- (2)洗浄シース、チューブセットをコンソールから取りはずして適切な方法で廃棄する。
- (3)コンソールおよびフットスイッチを柔らかい布またはガーゼでふく。汚れは中性洗剤に浸した布でふき取る。

*使用方法等に関連する使用上の注意

- **1.洗浄シースの硬性鏡への取り付けの際、洗浄シースのハブはライトガイドコネクタまで無理に押し込まず、ハブとライトガイドコネクタの間にすきまが見えるようにすること。すきまが見えなくなるまで無理に押し込むとシャフト先端が損傷するおそれがある。
- 2.吸引チューブがピンチバルブからはずれて吸引が停止しないおそれがあるため、吸引チューブをピンチバルブにセットする際は、チューブがピンチバルブの奥まで入っていることを確認すること。

使用方法に関する詳細については、コンソールの『取扱説明書』の「5.使用法」を参照すること。

【使用上の注意】

*重要な基本的注意

- **1.本製品は、副鼻腔以外への使用はしないこと。
- 2.使用前に、シースの表面に粗い面や鋭利な角がないか点検すること。
- **3.洗浄シースの硬性鏡への取り付けの際、洗浄シースのハブをライトガイドコネクタまで無理に押し込まず、ハブとライトガイドコネクタの間にすきまが見えるようにすること。
- 4.洗浄シースを硬性鏡にスライドさせた後、シャフト先端が破損していないか、緩んでないか、曲がっていないか、折れていないか、先端から突き出ているものが無いかを確認すること。
- 5.洗浄を行う際は、洗浄シースが術野内に入っていることを確認し、挿入や引き抜きの際は慎重に行うこと。
- 6.洗浄シース、チューブセットおよび硬性鏡は、無菌性を維持するように接続すること。
- 7.チューブセットを吸引容器に接続する際、送水ポンプおよびピンチバルブにセットする際は、洗浄シース、硬性鏡および送水する生理食塩水の無菌性が損なわれないように接続すること。
- 8.洗浄シースを、出力中の高周波治療機器に接触させないこと。
- 9.ポンプの駆動部による外傷のおそれがあるため、洗浄中にポンプレバーを開けないこと。
- 10.使用後は直ちに器具を点検すること。術後、患者から器具を取り出したら、ピンやプレートの損傷や脱落がないかを点検すること。破損、欠落が確認された場合は、患者体内への破片の残留を確認すること。破片が発見された場合は、ただちに除去すること。

不具合

その他の不具合

破損、チューブ破断、漏れ、吸引物のつまり

有害事象

その他の有害事象

組織の損傷、出血、穿孔、外傷、灌流液や患者体液および汚物の飛散による感染、感電、やけど

【保管方法及び有効期間等】

有効期間

包装に記載の使用期限を確認すること（自己認証（当社データ）による）。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：

オリンパスメディカルシステムズ株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

お問い合わせ先

TEL 0120-41-7149（内視鏡お客様相談センター）

外国製造元：

ジャイラス・エーシーエムアイ社
Gyrus ACMI, Inc.
国名：アメリカ合衆国

コンソールの取扱説明書を必ず参照してください。